

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 17

東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日
例 会 日 毎週月曜日 12:30~
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪
事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会 長 百 濟 洋 一
会 長 ノ ミ ニ ー 切 石 博 之
副 会 長 瀧 田 浩 彦
幹 事 三 木 武 志
会 報 委 員 長 福 岡 康 民

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来はあなたの手の手に

2009~2010年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

第1747回例会 平成21年11月30日(月曜日) 第17号

本日の例会

11月30日(月) 第3例会

◎ソング

「奉仕の理想」

◎卓 話 「シンクタンクと情報セキュリティの

動向と対策に関する課題」

ゲストスピーカー ㈱三菱総合研究所

科学安全政策研究本部 博士(情報科学)

主任研究員 石黒 正揮様

(担当:宮田照男会員)

◎本日の献立

フランス料理

次回の例会

12月7日(月) 第1例会

◎卓 話

「地域防災のありかた」

ゲストスピーカー 大阪市生野消防署

予防担当司令 田中 時治様

(担当:木村正一会員)

◎本日の献立

軽 食

前回の例会記録

11月16日(月) 第2例会

「東大阪中央RC・東大阪西RC合同例会」

「会長挨拶」

氏野 隆司会長

皆さん、こんばんは。本日は、東大阪中央ロータリークラブ様との初めての合同例会です。東大阪中央ロータリークラブ百濟会長様、三木幹事様、ご

出席会員様を、私共クラブは歓迎致します。何よりも合同例会が実現致しましたことに感謝致します。有難うございます。ここで、両クラブの紹介を少しさせていただきます東大阪中央ロータリークラブ様は、創立が1972年2月20日で37年になります。月曜日12時30分、シェラトン都ホテル大阪3Fで例会をされており、現在会員数42名であります。私共、東大阪西ロータリークラブは、創立が1985年3月18日で24年になります。月曜日18時30分、大阪国際交流センター3Fで例会を行っております。現在、会員数40名であります。両クラブは多くの共通点があります。皆さまもご存じの通り、両クラブは東大阪ロータリークラブ様をスポンサークラブとして設立されました。例会日が月曜日、例会場が上本町で近い事、会員数がほぼ同数である。このような条件が、今回の合同例会の開催を実現しやすくさせたとは私は考えます。そして、何よりも合同例会の開催を後押ししたのが、会員数の減少が大きな要因であります。クラブの活性化の一つの方策とならないかと、両クラブの会長、幹事が考えた次第です。両クラブの会員相互の懇親を深め、ロータリアンとしてのクラブライフを益々充実させて頂ければと思います。今後ともよろしくお願い致します。

出席報告

本日の会員数

小川委員

42名

本日の出席者数	26名
本日の出席規定適用免除会員	16名
本日の出席率	86.67%
10月31日の修正出席率	70.97%

「ニコニコ箱報告」

- 東大阪中央RC 百済洋一会長 西クラブとの合同例会を祝して。
- 東大阪中央RC 三木武志幹事 西クラブとの合同例会を祝して。
- 氏野会長 東大阪中央RCとの合同例会を祝して。
- 藤原幹事 東大阪中央ロータリークラブの皆様、ようこそおこし下さいました。
- 秀浦会員 東輪会GCお世話になりました。東大阪中央RCの皆さんをお迎えして。
- 高田会員 東大阪中央RCの皆様ようこそお越し下さいました。これからもよろしくお願ひ致します。
- 高田会員 第一回合同例会を祝して。
- 谷村会員 合同例会を祝して。
- 中西会員 東大阪中央RCの皆様をお迎えして。
- 南野会員 合同例会を祝して。
- 弓手会員 湯浅様をお迎えして。
- 吉城会員 湯浅光義先生をお迎えして。
- 石津会員 合同例会に湯浅先生をお迎えして。
- 曾田会員 湯浅先生をお迎えして。
- 松尾会員 中央さん、ようこそいらっしやいました。

「卓話」

「蝶々についての一考察」

税理士 湯浅 光義様 (前東大阪税務署署長)

小学校3年生ぐらいから蝶々の収集を始めて、60歳ですので50数年間やっています。大学生の時に京都の蝶の仲間12人で「京都の蝶の会」を作って、現在の会員数は約200人、全国に会員がいます。会員で一番有名なのは鳩山邦夫さん、蝶の大家です。企業人では京都の村田製作所の村田泰隆さんも一緒に活動しています。

蝶の種類は世界で2万種近くいるというのが通説です。日本では約250種類、台湾などから飛んできたりすると、それが土着して新種になります。蝶の単位は一頭、蝶の分類は、まずは種、その上が属になって、科、目、綱、門、界、最後は生物となりま

す。皆さん方は畑でアゲハチョウとモンシロチョウが菜の花の蜜を吸っている光景を見られたことがあると思います。それを人間の世界で考えると、人間と猿が遊んでいるのと同じで、蝶は種類が違うとそれぐらいの差があります。

蝶と蛾は何が違うのか、100%、右と左に分けられません、分けたら、蝶は昼に飛んで、蛾は夜に飛びます。蝶の触覚は先が丸く、蛾は真っ直ぐです。蝶は羽をたたんで留まりますが、蛾は羽を広げて留まります。蝶は基本的にきれいで、蛾は地味、蛾の銀粉は毒だとよく言われます。但し、それぞれ例外もあることをご承知ください。

天然記念物の蝶は日本に7種類、蝶を採ってはいけないのは北アルプスと北海道の大雪山系で、動植物が保護されています。それでは皆様のお手元に配付しています資料の蝶の写真を説明させていただきます。あまり知られていませんが、稀少な蝶が東大阪の近辺に生息しています。私の標本は、我が家の2部屋が占領されており、箱は100以上、蝶は5,000~6,000います。現役で家でも飼育もしています。

昆虫と地球温暖化について、虫たちの警告ということで虫が増えている、南方系が北に上がるというのは暖かくなっているから棲めるわけです。地球温暖化の世界になってきています。皆様方が子供の頃クマゼミは珍しく、アブラゼミばかりでした。今はクマゼミばかり、アブラゼミは柔らかい土にしか育たず、クマゼミはコンクリート以外であればもぐることができます。ヒートアイランド、土が固くなっているのが原因です。マスコミで温暖化が言われますが、それを表しているのが虫たちです。

主な採集旅行として、北海道の羅臼岳には昭和44年7月に1ヵ月ぐらい行きました。沖縄、台湾には昭和47年2月、大学卒業前です。与那国島にも行きました。蝶の採集は基本的には一人で行きます。大阪の蝶ということで、能勢地方と生駒山系は蝶が豊富ですが、市内にはあまりいません。

蝶は結構保護されています。北アルプスと大雪山以外にも、各市町村が採集禁止という形で看板を立てたりしています。ただ、禁止の指定はするけれども、あとの保護はされていないのが現状で、宅地開発になってしまったり、飛行機で農薬散布もみられます。また、放蝶ということで、よその蝶を持ってくることがありますが、生態系を乱すようなことは駄目です。

無農薬野菜志向、ところがキャベツに虫が付いていると嫌がります。キャベツ畑にモンシロチョウが飛んでいなければ農薬だらけです。虫食いのキャベツの方が人間にとって健康だとご認識下さい。